

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	住宅地とは離れた小高い場所にある立地的な問題はあるが、地域との交流がやや希薄ではないか？	地域で暮らすということは、災害時など地域の人々の助けをお借りすることがある。そのためには、その方々との日常的な交流が欠かせないことを認識し、入居者と共に積極的に地域の行事に参加したり、ホームの行事に地域の方々をお招きするなどの活動をイベント委員会を中心に重点的に行っていく。	近隣の高齢者施設(老健、特養など)が開催している夏祭りなどのイベントに参加してみる。	3ヶ月
2	33	看取り介護において医療と入居者のご家族、施設の3者がしっかりとスクラムを組んでいるか？望まれない延命治療は無かったか？	看取り介護において最も重要なのは入居者ご本人が安らかな最期を迎えられることだと考える。そのためには、看取りに入る前に可能ならばご家族から入居者の生前のご意思を聞き取り、医療側にはどこまでの医療行為が必要なのかを確認してもらい、施設はそれに添った介護を行うという互いのコンセンサスをとる。	入居者ご本人の尊厳を守るため、医療、ご家族、施設の3者が看取り介護に入る前には、より一層しっかりと連携し、話し合う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。